

消防だより



虹のマーチ

2023.3
第54号



組合設立50周年

事業等の関連記事は2ページ

川越地区消防組合

当組合は

令和5年4月1日に設立50周年を 迎えます

地域住民の皆さんの「安全・安心」を守り続けるため、先人から受け継いだ知恵・技術を再確認し、新たな未来へと踏み出す1年となるよう、記念事業を進めてまいります。

今後とも消防行政にご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

KAWAGOE FIRE DEPT.

○今後の記念事業スケジュール

3月

- 消防署体験見学会
(川島消防署)



8月

- 消防署体験見学会(川越北消防署)

10月

- 大学学園祭ブース出展(2日間)
- 消防署体験見学会
(川越中央消防署・名細分署)



4月

- 組合設立50周年記念日
- 組合PR動画公開
(公式YouTubeチャンネルにて)
- 「50周年記念特設サイト」開設



50周年記念特設サイト

5月

- 消防署体験見学会
(川越中央消防署・川島消防署)

11月

- 消防署体験見学会(川越北消防署)
- 50周年記念式典
- 消防フェスタ



6月

- 消防体験バスツアー
(2日間)



7月

- 消防署体験見学会
(川越西消防署・川島消防署)

その他

- 50周年記念誌刊行(令和6年2月頃)

各事業等の詳細は「50周年記念特設サイト」や、下記YouTubeチャンネルにて随時更新中です！

公式YouTubeチャンネルを 開設しました！

映像を通じ、よりリアルでより分かりやすい「安全安心情報」の発信を目指します。



川越地区消防組合
公式 YouTube チャンネル

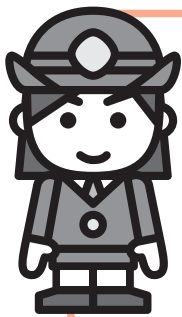
尚美学園大学様よりイラストを提供していただきました！

昨年、学園祭ブース出展でご協力いただきました尚美学園大学様に本誌表紙のイラストを提供していただきました。本イラストを使用した50周年記念ポスターは近日中に川越市・川島町内にて掲示されます！

【イラスト制作】尚美学園大学 情報表現学科 1年 宮崎優さん

(漫画研究会所属)

消防局総務課 TEL 222 - 0741



春の火災予防運動が始まります! 実施期日 3月1日(水)~3月7日(火)



間もなく暖かい季節を迎えますが、冬から春に移り変わっても空気が乾燥しやすい状況に変わりはなく、より一層の火災予防を心がけなければなりません。

皆さんの大切な命、財産を守るため今一度身のまわりを確認し、火災予防に努めましょう。

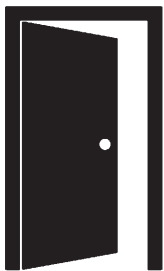
アパート・マンション火災が増加しています!

令和4年にアパート・マンションで発生した火災は18件で、令和3年の約2.5倍となっています。また、アパート・マンションで発生した火災による死者数は、令和3年の5倍でした。主な原因として、逃げ遅れて亡くなるケースが多く見られます。

火災から大切な生命を守るためには、避難がなにより重要です。ご自宅の避難方法について、今一度家族全員で話し合しましょう。

アパート・マンション火災の避難方法

まずは玄関から避難しましょう。
(普段から避難経路を確認)



玄関の先が避難に利用できない時は、ベランダへ避難しましょう。
(ベランダのパーテーションは蹴ると割れます)



ベランダに設置してある避難器具を使って避難しましょう。
※避難器具がない場合は、火元より遠い安全な場所へ移動しましょう。



消防局予防課 Tel 222 - 0744

川越西消防署消防課

Tel 231-1197

放水体験



先端が曲がるはしご車!!



はしご車救出訓練



先生が乗っています!!

先生、たか〜い!!



みんなでホースを持ち上げたよ!!

子供たちの未来を育む体験授業

当組合管内の小学校3年生の児童達が、事業所などの仕事を学ぶ授業の一環で、消防署を見学しました。消防車両の見学では、説明を聞きながら車両の仕組みに目を輝かせていました。また放水体験では、実際の放水による圧力やホースの重さを体験することで、消防士の仕事を実感していました。この体験から子どもたちが消防の仕事に興味を持ち、未来の消防士が誕生することを願っています。

川越市消防団だより

第12号

消防局総務課 TEL 222 - 0741

水災用器具取扱い訓練

令和4年7月9日、川越水上公園内において水災用器具（救命ボート等）の取扱い訓練を行いました。

これらの訓練で使用する水災用器具は、昨年度総務省消防庁による消防団救助能力向上資機材緊急整備事業の一環として貸与を受けたもので、台風や近年増加する局地的豪雨災害が発生しやすい時期を前に、団員の機械器具への精通と熟達を目的としています。

川越西消防署名細分署職員の指導のもと、水災用器具配置先となる高階分団の団員を中心に訓練に参加した団員はゴムボートの組み立てやボートえい航、救命胴衣と胴長靴を着装しての水中歩行などの訓練を実施しました。

川越市消防団では、水害発生時にはこれらの資機材を有効に活用した活動が行えるよう訓練を継続していきます。



ゴムボートの組み立て訓練



救命胴衣と胴長靴の着装 ボートえい航訓練

活躍する女性消防団員

◎川越まつり警戒活動

令和4年10月15日、16日、団本部女性団員は、3年ぶりの開催となった川越まつりにおいて、消防団警戒本部の無線通信を担当しました。

交通規制区域内で発生した救急や災害事案に対し、区域内を徒歩で警戒している団員へ無線を通じて現場の活動を指示すると共に、現場の団員から救急や災害の情報を収集することで消防職員の現場活動が円滑に行えるよう支援を行いました。



地図で配置状況を確認



当日参加者による集合写真

◎埼玉県消防協会女性団員研修

令和4年12月3日、嵐山町の国立女性教育会館にて開催された埼玉県消防協会女性消防団員研修に参加し、「結成20周年に向けて～小江戸川越を守る私たちの軌跡と未来～」をテーマとし、市制100周年を迎えた川越市の紹介や2004年4月の団本部女性団員結成以来18年積み重ねてきた活動事例の紹介、今後の活動の抱負などを発表しました。

◎城下水川町自主防災会DVDによる普通救命講習

城下水川町自主防災会の皆さまに、応急手当を学ぶ救命講習を行いました。「わかりやすく丁寧に」をモットーに、いつ起こるかかわからないもの時への備えを多くの市民の皆さまへお伝えできるよう、このような講習を今後も継続して開催してまいります。

また、定期的な自主研修会を開催して講習スキル向上に努めており、今年度新たに3名の団員が応急手当普及員の資格を取得しました。



自主防災会での講習風景

分団活動の紹介《地域行事への参加》

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、川越市消防団の各分団では、受持地区の状況を考慮しながら、コロナ禍で中止されていた消防団による地域活動を少しずつ再開いたしました。

芳野分団

令和4年11月16日、芳野分団車庫にて芳野小学校3年生の社会科見学及びクラブ活動（地域探検部）との交流を行いました。分団車庫の見学や装備品の説明、放水や防火服着体験などを通して消防団活動への理解を深めてもらうことができました。参加した児童からは、「大きくなったら消防団員になりたい」「消防団員の人はすごい」との感想も聞かれ、団員にとっても貴重な体験となりました。

南古谷分団

令和4年12月4日、南古谷小学校で開催された南古谷地区の防災訓練に参加しました。

南古谷分団は、消防車両や車両に積載されている資機材等の展示を行いました。また、初期消火や煙体験、AED取扱いなどの訓練では、消防職員と連携して、運営の補助などを行いました。



分団車両及び積載資機材等の展示

大東分団

令和4年12月4日、大塚新町東山公園で開催された5・6・9・10ブロック合同防災訓練に参加しました。

訓練では、簡易担架作成、AEDを用いた応急救護、消火訓練、防災グッズ展示などが行われました。大東分団は、会場の設営のほか、消防職員と連携して、運営の補助を行いました。



消火器の操作訓練

高階分団

令和4年11月20日、高階南小学校で開催された7町合同防災訓練に参加しました。

高階分団は、車両積載資機材や救命ボートの展示を実施しました。また、応急救護訓練、救出救助訓練、初期消火訓練などの訓練では、消防職員と連携して、運営の補助などを行いました。



倒壊した建物からの救出救助訓練

消防団のテントを購入しました

大規模災害等における消防団活動で活用するため、一般社団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入を財源として実施している「コミュニティ助成事業」の助成金を受けて、団本部、芳野分団、高階分団、山田分団へテントを整備しました。

今後も消防団の活動環境を強化し、「住民が安全・安心を実感できるまち」の実現を目指します。



団本部テント

川島町消防団だより

第12号

川島消防署消防課 Tel 297 - 1979

第33回埼玉県消防操法大会で準優勝しました!!

令和4年8月20日埼玉県消防学校で開催された第33回埼玉県消防操法大会に川越市・川島町を代表して、川島町消防団第四分団が出場しました。

消防操法とは、消防機械の基本的な習得を目的とした訓練で、消防ポンプ車操法と小型ポンプ操法の2種類があります。

第四分団は全7隊が出場した「消防ポンプ車操法の部」において、数か月間の訓練の成果を発揮し、準優勝という成績を収めることができました。



出番に備えて待機中……。



賞状、盾、準優勝旗をいただきました。

【防火しおりができるまで】



子供たちが消防車の絵を描きます。



描いた絵をスキャナで読み込み縮小して加工し



できあがり!

女性消防団員 ☆ 活動紹介

川島町女性消防団員は現在8名で活動しています。私たち女性消防団員が行っている火災予防広報活動のひとつが「防火しおりづくり」です。

防火しおりは、幼年消防クラブで活動している「とねがわ幼稚園」「けやき保育園」「さくら保育園」の園児たちが「幼年消防クラブ絵画展」に出品した消防車の絵をもとにしています。園児たちが一生懸命描いた消防車の絵を火災予防に活かしたい、との思いから毎年心を込めて作成しています。

この防火しおりは、春の火災予防運動に併せて毎年3月1日から川島町立図書館とふれあいセンターフラットピア川島で配布しています。

令和4年度消防特別点検

令和4年11月6日埼玉県中央防災基地において、令和4年度消防特別点検が行われました。特別点検では、いつ災害が起こっても、安全・確実・迅速な消防活動ができるよう消防団員の人員、服装及び規律をはじめ、消防車両等の機械器具や備品等を点検します。

コロナ禍の影響で今年度は3年ぶりの実施となりましたが、今回は新型コロナウイルス感染症対策で人員を制限して行われました。

当日は、点検者の川越地区消防組合管理者（川越市長）と副管理者（川島町長）による点検のほか分列行進や一斉放水も行いました。



川島町長による服装及び規律の点検の様子

新入団員紹介



第一分団
鈴木団員

川島在住10年足らずの半人前の町民ではありますが、訓練や研修に積極的に参加して、いざという時に地域の役に立てるよう頑張りたいと思います。



第二分団
小林団員

1歳から16歳まで育った川島町。戻ってこられた事をきっかけに消防団に入団しました。家族、地域の為に責任をもって消防活動を行いたいと思います。



第二分団
齋藤団員

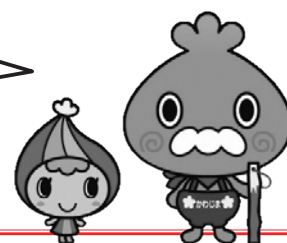
仕事の関係で入団を迷っていましたが、在宅勤務が可能となり入団しました。防災活動を学び、地域に貢献できるように努力していきたいと思っています。



第六分団
中島団員

川島町に住んで12年。多くの方が退団するような年齢での入団となりましたが、地域貢献のために一生懸命務めてまいります。

川島町消防団に新たに仲間入りした団員を紹介するのじゃ！



消防団員を募集しています

川島町消防団では、地域の安全・安心のために一緒に活動する消防団員を募集しています。応募資格は、川島町在住又は在勤の18歳以上です（性別は問いません）。「自分たちのまちは自分たちで守る」の精神に基づき、年齢層は幅広く、会社員、自営業者、学生など様々な人が活動しています。

詳しくは川島消防署消防課又は地域の消防団員までお問合せください。

川島消防署消防課 TEL297-1979

消防団員は、特別職の地方公務員として任命されます。



歳入

負担金 (消防行政を運営するのに必要な負担金 (組合を構成する川越市・川島町からの負担金))	4,696,473,758 円 (87.7%)
使用料及び手数料 (消防関係検査等の手数料等)	5,440,839 円 (0.1%)
県支出金 (一定の事業に使いみちを特定して県から交付されるもの)	5,695,233 円 (0.1%)
財産収入 (基金運用の利子等)	3,035,350 円 (0.1%)
繰越金 (前年度から持ち越されたお金のこと)	305,452,284 円 (5.7%)
諸収入 (受託収入等の他の収入科目に含まれないもの)	20,233,470 円 (0.4%)
組合債 (金融機関等からの借入金)	319,500,000 円 (6.0%)
歳入合計	5,355,830,934 円(100.0%)

歳出

議会費 (議員報酬等の議会運営費)	3,819,749 円 (0.1%)
総務費 (組合管理者・公平委員・監査委員等の特別職の報酬等の経費)	3,077,026 円 (0.1%)
消防費 (消防・救急等に必要な経費及び消防施設の建設費等)	4,878,761,577 円 (95.2%)
公債費 (借入金の元金、利子の返済のための経費)	241,444,967 円 (4.7%)
予備費 (予見することのできない歳出予算の不足に備えて計上される費用)	0 円 (0.0%)
歳出合計	5,127,103,319 円(100.0%)

* 比率(%)の合計は、端数処理の関係で100%とならない場合があります。「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものです。

川越地区消防組合議会が開催されました。

○令和4年第4回臨時会(令和4年12月27日開会)
管理者提出議案

議案議決一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第13号	川越地区消防組合消防職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	原案可決
議案第14号	川越地区消防局・川越北消防署新庁舎造成工事請負契約の変更について	原案可決
議案第15号	令和4年度川越地区消防組合一般会計補正予算(第2号)	原案可決

課名等の変更について
令和5年4月1日より下の課名等を変更いたします。なお、名称のみの変更であり、元々の業務の内容に変更はありません。
消防局総務課
TEL 222-0741

消防課 → 指導課
警備課 → 消防課
警備担当 → 消防担当

緊急自動車のサイレンに対するご理解とお願い
「近所迷惑になるから」、「周囲の目が気になる」などの理由で、119番通報時に「サイレンを鳴らさないで来てほしい」という要望をたびたび受けることがあります。
消防車や救急車などの緊急自動車が現場へ向かう際には、道路交通法等でサイレンや赤色警告灯を使用することが義務付けられており、サイレンを止めると緊急走行が出来なくなってしまうのです。
大切な命を守るため、緊急自動車のサイレンに対するご理解・ご協力をお願いします。
消防局指揮統制課 TEL 226-7408



緊急自動車のサイレンに対するご理解とお願い

救急車の適正利用についてご協力を!
救急車は、けがや急病などで緊急に病院に搬送しなければならぬ傷病者のためのものです。緊急性がなく、自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関等を利用するようお願いいたします。しかし、急いで病院へ行った方が良いと思つたときは、迷わず119番通報をしてください。救急車を呼ぶべきか、病院へ行くべきか迷つたときは埼玉県救急電話相談(7119)または048-824-4199)をご利用ください。
消防局救急課 TEL 222-0160



救急車の適正利用についてご協力を!

消防局警防課
TEL 222-5891
当組合では、消防の訓練にご協力いただける事業所を探しています。ご連絡お待ちしております。

訓練会場を提供していただき、感謝状を贈呈しました。
① 有限会社遠藤商店
代表取締役 遠藤 敬士 様
令和2年度から土砂災害対応訓練会場として所有地を無償で提供いただいたほか、重機を運用して環境を整えていただく等の多大なご協力をいただき、土砂災害に関する技術知識の向上を図ることができました。
② 社会福祉法人キングス・ガーデン埼玉
理事長 片岡 正雄 様
キングス・ガーデン埼玉様には、解体予定の建物を提供いただき、扉や窓の切断など、普段の訓練では難しい実践的な訓練を行うことができました。訓練にご協力いただきありがとうございます。



感謝状を贈呈しました



感謝状を贈呈しました



消防だより

虹のマーチ

2023.3 第54号

発行/川越地区消防局 総務課

〒350-0823 川越市神明町48-4 TEL049-222-0741

http://www.119kawagoechiku.jp/

Fontworks UD Font

火事・救急・救助は119番 災害情報テレフォンサービス TEL0180-994-310 *かけまちがいにご注意ください。